

湿度校正器 HMK15



試験室内の用途のほかに、湿度校正器HMK15は、湿度プローブ及び変換器の現場チェックにも適しています。

どのような機器でも、それ自身で精度維持することは困難です。従って機器の測定値を参照標準に対して定期的にチェックすることはとても重要です。湿度校正器HMK15は、湿度計や湿度変換器を確実に校正、調整するために開発されました。

試験室、研究機関等で用いられている校正方法

HMK15の湿度発生原理は、“飽和塩法”と呼ばれるものです。これは“飽和塩溶液は、その上層空間にその塩に特有の相対湿度を発生させる事実”に基づいています。この方法は一般的に認められ信頼されている方法で、多くの先進的な研究機関等でも用いられています。

証明書付き塩パッケージ

各種塩類は1回分使用量がパッケージになっていますので、従来のように量り取る必要はありません。パッケージは、ヴァイサラ本社（フィンランド）の計測標準試験室（MSL）で製造パッケージごとに抜き取り検査が行われており、その証明書が付いています。

用途に応じて塩類を選択

HMK15は、通常2つの校正用ボトルに2種類の飽和塩溶液（LiCl、NaCl）を用いますが、もう1つボトルをセットすることができます。塩パッケージは、さらに2種類（MgCl₂、K₂SO₄）用意されています。各塩類が発生する湿度は以下の通りです。

- 塩化リチウム（LiCl） 11%RH
- 塩化マグネシウム（MgCl₂） 33%RH
- 塩化ナトリウム（NaCl） 75%RH
- 硫酸カリウム（K₂SO₄） 97%RH



FINASの認定を取得している計測標準試験室

フィンランド本社の計測標準試験室は、EA（ヨーロッパ共同認定機構）のメンバーであるFINASで認定された校正室です。

特長

- 湿度計、湿度変換器を確実に校正、調整できます
- 飽和塩溶液の原理
- 温度平衡が早い
- 外部電源不要
- 校正室内のみならず、測定現場でのチェックにも最適
- キャリングバッグで持ち運びも簡単です
- 塩パッケージは、バッチチェックされており証明書付き
- アフターセールス校正室では湿度のJCSS認定校正が行えます

日本においては、JCSS（校正事業者認定制度）の認定事業者です



計量法に基づく校正事業者登録制度の標章（認定シンボル）で、弊社校正室は湿度区分の登録事業者です。0123は、当校正室の認定番号で、国際MRA対応JCSS認定事業者です。

注）本校正器のみで十分な調整、校正を実施できますが、測定場所で温度平衡を取ることが難しい場合は、取扱店、または弊社インストルメンツ サービスへの校正依頼をお勧めします。

技術情報

湿度校正器HMK15

HMK15の標準セットの構成は以下の通りです。

- 校正用ボトル、2セット
 ボトル容器、容器フタ（測定用）、
 ゴムプラグセット、
 移動時用フタ（密閉用）
- ベースプレート
- HMT320シリーズプローブ用アダプター
- 棒状温度計
- 計量カップ、攪拌スプーン、イオン交換水
- 塩2種類（LiCl、NaCl）
- キャリングバッグ

オプション

証明書付き調整済み塩類	注文コード	総合不確かさ*
塩化リチウム	11 %RH 19729HM	(±1.3%RH)
塩化マグネシウム	33%RH 19730HM	(±1.2%RH)
塩化ナトリウム	75%RH 19731HM	(±1.5%RH)
硫酸カリウム	97%RH 19732HM	(±2.0%RH)

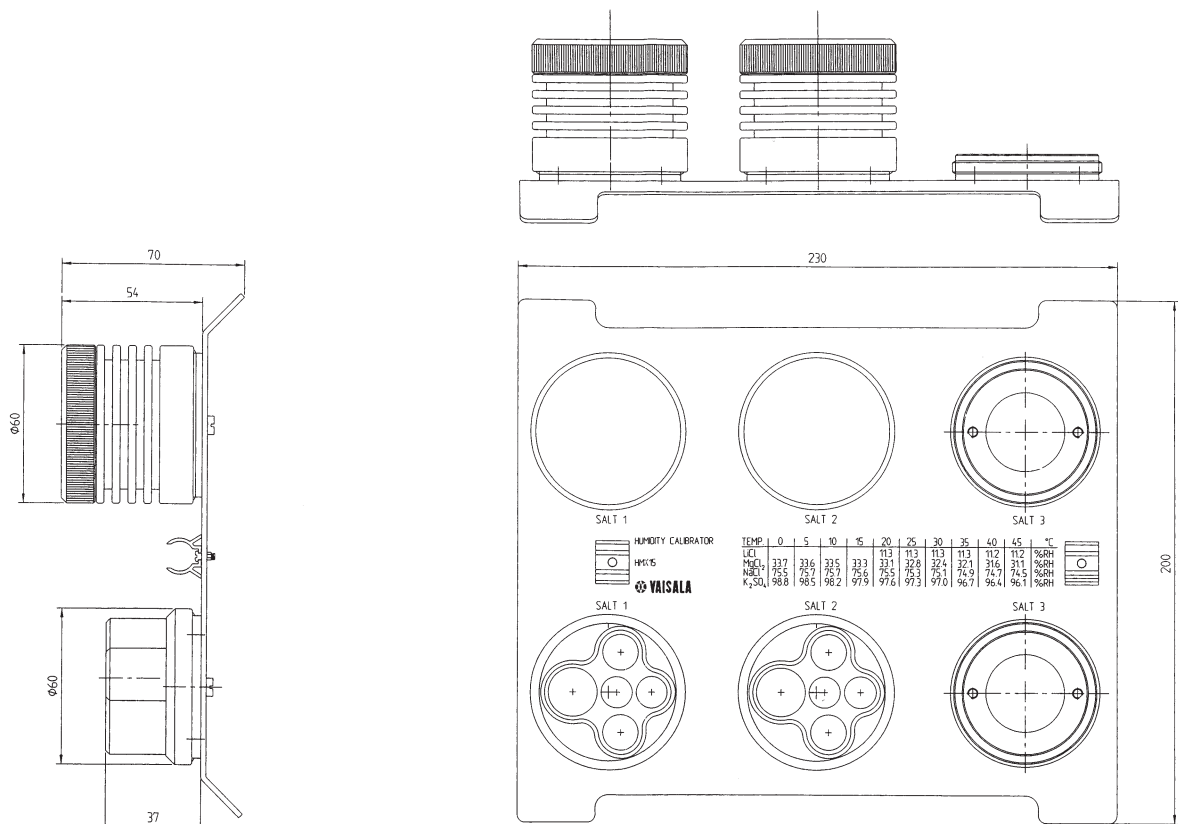
*不確かさは+20℃において

イオン交換水	19767HM
校正用ボトル	19766HM
キャリングバッグ	HM27032



外形図

単位：mm



HUMICAP®はヴァイサラ社の登録商標です。
 仕様は予告なく変更することがあります。
 ©Vaisala Oyj

